

## 日中共創の新時代に挑戦——MIJBC の誕生逸話

2017年の12月1日、「これから2ヶ月は見納めだな！」と、機窓から山頂に雪の富士山を眺めながら、私は上海浦東空港を目指して富士山静岡空港を離陸しました。

私は、2005年から12年間、初代静岡県牧之原市長を努め2017年10月29日に退任しました。市長退任後は、あいさつ回りと残務整理などで忙しいはずですが、私は「市長を退任したら中国に住んでみる！」という一大決心を実行に移しました。

私が最初に中国に足を踏み入れたのは1992年の秋でした。

静岡県と浙江省との友好提携10周年で、私が静岡県議会議員になったばかりのころでした。それから30年、県議会議員や市長時代を通じて中国には50回以上訪問していました。

しかし短期間の交流と観光の訪問で「もっと深く中国を知りたい」という想いが日増しに高まっていて、とにかく市長を退任したらすぐ行かないとまたいつになるかわからないと、中国大使館でビジネスビザをいただき、上海で2ヶ月の短期滞在をすることにしました。

滞在先として選んだ場所は、牧之原市が友好提携を結んでいる上海市静安区の地下鉄静安寺駅近く、銅仁路に面した5階建てのフランス租界時代の古色蒼然としたアパートでした。



2017年12月1日～2018年1月末、上海市静安区铜仁路に2か月滞在

すでに厳冬期に入り木々は葉を落とし、更に日が落ちてからの到着であったために「えっ！こんなところ！」と心細くなりました。エレベーターはもちろんなく、重たいトランクを持って3階に上がるのは大変でした。部屋の中は近代的にリノベされていて、空調もwifiも照明までもがモダンで出迎えてくれましたが、トイレはもちろんウォシュレットはなしで「紙流してはだめ」、さらに風呂はなく「シャワー」でした。毎日氷点下の厳冬期に、この「トイレ」と「シャワー」は、滞在する1月末の最後まで悩みの種となりましたが、今となっては懐かしい思い出です。

さて、私がなぜ中国との交流を重視するかということをお話します。

2012年12月安倍晋三さんが総理大臣に就任しすぐに、民主党政権下でのデフレや経済不況を克服するために、アベノミクスといわれるいわゆる3本の矢「経済対策」「財政対策」に加えて「成長戦略」を発表しました。

その中に、地方の人口減対策と活性化のために「地方創生」が含まれていまし

た。この地方創生担当大臣の石破茂さんは就任二日後に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画書作りの号令を全国の自治体に発しました。

牧之原市はすでに国が求める「(産官学金労言による※)対話による協働のまちづくり」を進めておりましたので、石破大臣から「牧之原市は国がやろうとしていることをすでに実施している」と評価をいただきました。そこで、国から地方創生の予算をもらえるということになりました。

国内で長く続いたデフレ脱却を目指しますが、牧之原市の中小企業の業績は振るわず、お茶などの農水産業も不振続き、追い討ちをかけて東日本大震災後の地震津波の心配などで、人口減少が続いていました。

当時は、中国からの観光客が急増していて、牧之原市にある小さな富士山静岡空港でも、お土産品はもちろんのこと炊飯器や便座まで、溢れかえった日本製品の山が、あっという間に中国からの旅行者によって売切れてしまいました。

また、お会いする中国企業家たちからは「商品ばかりでなく、静岡県内の中小企業が持つ製造、技術、サービスや経営ノウハウなど欲しいものはたくさんある。中国に進出してきて欲しい」という希望も次々と寄せられました。

中国の皆さんは日本製品が必要でしたが、当時の日中関係は良くなく、日本の中小企業は中国に出て行ってまで商売はしない！と消極的でした。であるならば、中国の企業に日本へ来てもらい、日本企業に投資して、中国側の希望する仕様で製品を作って、中国で販売してはどうだろうか！と中国企業に提案してみました。

中国の資金と販路、日本の製品とサービスを結び、日中共創の新たなビジネスチャンスという響きに多くの方々が賛同してくれました。

そんな中で、経済産業省の地方創生補助金メニューに「海外企業の対日投資促進を地方自治体が目指す」を見つけた時には「これだ！」と喜びました。

こうして、地方都市牧之原市の活性化として、海外特に中国からのインバウンドと、更に投資の促進をも狙った、概念としての MIJBC(Made in Japan by China)事業は 2013 年秋スタートしました。

MIJBC的基本概念

**MIJBC**  
**Made in Japan by China**

简而言之…



日本与中国进行合作生产・共同研究开发  
地方创生项目&品牌

※産業界、官公庁、大学等、金融機関、労働団体、言論（マスコミ）

日文：西原茂树

中文：JST 客观日本编辑部